



週)報

2014～2015年度))) R I 会長)ゲイリー・C・K・ホアン)
R I のテーマ) 『ロータリーに輝きを』)
地区のテーマ)))「行動) ACTION」) ガバナー)坂本元彦)

国際ロータリー
第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14) TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305) 狭山市入間川 1 -24-48) TEL)04-2952-2277) FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)稲見) 淳) 会長エレクト)奥富喜平))副会長)坂本松男) 幹事)江原伸夫)

〔第3グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第1017回(11月18日)例会の記録

点 鐘 稲見 淳会長
合 唱 我らの生業
第2副SAA 若松君 吉川君
ビクター 田口伸一様(狭山RC)

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
40名	29名	72.00%	84.21%

副会長の時間

坂本副会長



皆さんこんにちは
今日は11月18日ですが、今年の立冬は11月7日に迎えましたが、ここ2・3日の天気予報を聞いていますと、北海道や東北地方では雪の便りが聞こえてきますが、JR 東海の「そうだ京都へ行く」のCMの中にあるように、この時期は京都の紅葉を始め、関東以西の平野部では、まさに晩秋を迎えておりますが、皆様方もご承知の通り、日本では四季がありまして、春夏秋冬の中では、私は秋が一番好きな季節であります。何となく風情や情緒があり、また秋にちなんだ言葉が沢山あります。例えば、食欲の秋、読書の秋、実りの秋、味覚の秋、天高く馬肥える秋等々、沢山の言葉がありますが、私は秋の夜長をプロ野球のテレビ中継での観戦で堪能致しました。

日本のプロ野球は、今年で創立80周年の節目の年を向え、2月1日のキャンプイン、そして3月下旬から始まったリーグ戦、クライマックスシリーズ、最後に日本シリーズで日本一になったソフトバンクを率いる秋山監督が、優勝インタビューの中でペナントレースも、クライマックスシリーズ、そして日本シリーズも 今年のヤフオクドーム全ての最終戦に勝利しての日本一は本当に嬉

しいと言っておりました。その日本一を成し遂げた秋山監督は、プロ野球界で最も名誉ある賞「正力松太郎賞」を受賞なされ、6年間の監督生活に優秀の美を飾って引退されました。

我々のロータリー活動に目を向けてみますと、10月7日、当クラブのゴルフコンペが吉川ゴルフ委員長の下、霞ヶ関カンツリークラブで秋晴れの絶好のコンディションの中で開催され、中谷会員が ベスグロ優勝を飾られ、夜は東親睦委員長の下、「秋色の芸を楽しむ夕べ」と題し、みんきちの会よる民謡と三味線、ベリー工房の二人によるベリーダンスとの異色の組み合わせによる秋の夜の楽しい夜間例会が行われました。

10月18日の土曜日は、例会振替で毎年恒例の医療法人尚寿会が開催する 地域交流フリーマーケットに、益子社会奉仕委員長が担当する委員会と、栗原(成)公共イメージ委員長が、ロータリーデーとして、秋空の下木々の合間から木漏れ日のあるフリーマーケットに相応しい 環境の中で、会員が持ち寄った品物、そして女性会員が作り上げた豚汁等の販売が行われ、多くの 会員の出席とご協力のお陰で、20万円という多くの売り上げを得ることが出来ました。

10月21日の例会は、我が狭山中央RCから選出しております、国際ロータリー第2570地区第3グループの沼崎ガバナー補佐の公式訪問が行われました。

10月28日の例会は、ロータリークラブ事業の中でも 重要視されております、ガバナー公式訪問が行われ、午前10時頃には入会3年未満の方々も会場に 集合され、坂本元彦ガバナーとの懇談会、その後昼食を挟み記念写真、そして通常例会、クラブ協議会では「会員増強について」の討論会が行われ、寶積会員増強委員長の的頂いた私も感銘を致しました。我々全会員が一致団結して行ったガバナー訪問も、成功裏のうちに終了することが出来ました。ご協力ありがとうございました。

11月4日の外来卓話では、若松パスト会長のご

紹介で、35代木村庄之助・内田順一様による、大相撲に対して我々の知らない部分も色々とお話を聞くことが出来て非常に良かったと思えました。

先週11日の例会では、小林会員の3分間スピーチ、吉澤会員・園部会員のイニシエーション・スピーチも人柄や事業の内容を知ることが出来き、ありがとうございました。

稲見年度上期の例会も来週25日と、12月2日の2回は通常例会で、12月9日は12月7日に例会振替で行われます地区大会であり、今年最後の例会は、前週からご案内しております掬水亭での年忘れ家族同伴夜間例会となっております。

稲見会長年度も会員皆様のご協力を頂きながら、年度計画書の稲見会長就任所感の中で、我々狭山中央RCは創立22年目を向え、正に成熟期であり、例会の重要性を充分認識し、お互いが切磋琢磨して自己研鑽に励む修練の場でもあり、会長の時間、議事、各委員会報告、3分間スピーチを含めた卓話の一つ一つが「ロータリー運動の質を高め感銘を与え 出席の意義が満たされる例会を目指す」と述べられ、一生懸命に取り組んでおられますので、更に、皆様方からご意見、ご指導を頂きながら、残る7ヶ月余りの運営に生かしていきたいと思っております、私も執行部の一員として努力をして参りますので、稲見会長の方針にご協力を頂けますようお願いを致します。

幹事報告

江原幹事

- ・地区大会2日目(12月7日)点鐘の変更について
- ・2013~2014年度地区補助金収支報告について
- 1. 例会変更 入間南RC 所沢RC
- 2. 受贈会報 入間RC 所沢西RC
- 3. 回覧物 コーディネーターニュース12月号
ハイライト米山176号
尚寿会広報誌第94号

《 会員3分間スピーチ 》

益子申明会員

改めましてこんにちは、益子申明です。

本日は3分間スピーチということで、簡単に自分の過去、現在、未来を話させていただきます。

私がこの狭山中央ロータリークラブに入会することになったのは、そもそも義理の父の会社、大同技研を継ぐことになったからです。6年前の2008年9月に引継ぎのために入社しました。それまで私は友人と興じた会社で主にNTTドコモの携帯電話のプロモーションイベントやホームページ制作の仕事をしていまし



た。現在はとても硬い仕事の電機機器の設計・組み立て、いわゆる製造業をしていますが、それまではまるっきり逆のイベントコンパニオンやモデルなどとてもやわらかい、ゆるいイメージの仕事に就いていました。実際には半年間休み無しとか、連日の徹夜やタクシーでの深夜帰宅など時間的にはとてもキツイ仕事でした。

そんな私が継ごうと思ったきっかけは、父が会社を興したのが55歳で、当時会社が25期でしたので、父の年齢が80歳になってしまう、ということでした。男性の平均寿命がまだ80歳を越えていませんので、変な話、いつどうなってもおかしくない状態でした。実際には寿命と余命では大分開きがあるようで、現在でも少し耳が遠くなっていますが、とても元気で85歳とは思えない、カクシャクとした老人です。

そういう状況のなかで、かなり短時間で引継ぎを行ったため、私自身もそうですが、社員の皆もしばらくは違和感があったと記憶しています。また、ちょうどリーマンショックが起きて、日本中が不景気になった時期も重なったので経営自体にも不安を感じていました。ただ、創業からの社員やベテラン社員のおかげでなんとか今日までやっていくことが出来ました。

現在は営業、設計、製造、資材と部門を独立させ自覚をもって仕事に取り組んでもらっているのので、私のすることははっきり言って、決裁のハンと帳簿の確認ぐらいなものほとんどありません。あとはクレームや不具合が起きたときに頭を下げるぐらいです。

今後の目標としては、会社をいかに長く存続させるかということです、今年で引き継いで6年、会社は31期を迎え、会社30年説の真っ只中にいます。残念ながら私には子供がいないので、私の次の経営者を探すことがこれからの最大の仕事と思っています。

委員会報告

R情報・雑誌

浜野委員

【横組】

p.36の「パブリックスピーキング」ということで、プレゼンの仕方を書いてある項目がございます。皆様にも関係がある事かと思ひまして、この記事を選びました。

まず、最初にコンセプトをまとめて話の枠組みをしっかりと決めることと書いてありまして、p.38の右上の方には、これが一番良いと思ったのですが、壇上ですべき最も重要な動作はアイコンタクトということだそうです。観客の中から親しみやすい人を5~6人選んでおいて、スピーチの中で彼らの目を見るようにするそうです。

「アイコンタクトはあなたの講演を最高のものと

する最強の武器となるでしょう」と書いてありますので、皆さん是非これからはアイコンタクトをされると良いのではないかと思います。

【縦組】

p.17「友愛の広場」の中にある「My Road to Rotary」丸岡さんという脳神経外科医の方が書かれたものですが、ロータリー歴が17年になるそうです。入った当初、ロータリーとはということで、そのような話に辟易して出席率は30%未満だったそうですが、その後講演会でロータリーは社交クラブであるとさらっと言われ、その時から出席率が100%を続けているそうです。

この会でも沢山の会員の方がはいられましたので、この言葉がとても良いのではないかと思います。この言葉が「友に会って、一緒に飯を食う」、これがロータリーの原点であると、この方はおっしゃっています。私もとても共感致しました。今会員増強や寄付の事を凄く言われるのだけれども、これはロータリーの創始者、ポール・ハリスが望んでいたクラブの姿なのであろうかと疑問を呈しております。この間のガバナー訪問で坂本ガバナーも仰っていましたが、この辺の所も読むと面白いと思い、ご紹介させて頂きました。

「パスト会長の卓話」・・・・・・・・

柴田讓パスト会長

6月に3回目のモンゴルに行って参りましたが、6ヶ月も経ってしまい少し忘れてしまっているのですが、当時の資料を出しながら何とかまとめてみたということが、今日臨む上での苦労話です。



モンゴルの干ばつ防止植樹事業そのものよりも、それまでの歩みを重点的にお話させて頂きたいということが、私の気持ちでございます。

2009年4月にジグジットタミラ君を米山奨学記念事業の中での奨学生として、私どもがたまたま縁あって迎えることになりました。その時の会長さんが栗原成実会長さんで、確か5月頃に2年間だけでもカウンセラーをやって欲しいと、私に要請がありました。それが縁でタミラ君と一緒にやることになったのですが、当初私はタミラ君のお父さんが、駐日特命全権大使だとは知らず、職員だと理解しておりました。たまたまこのような関係が後で分り、一度卓話をして頂こうかという話から、渋谷にあります大使館に、最初は私だけで行きました。

お会いした当時50歳で、非常に精悍な顔をしておられましてモンゴルをこれから背負っていくのだという強い思いを感じました。だから今、全権大使でおられるのだと感じたことが、今のよう記憶に鮮明に残っております。

・・・少し読ませて頂きます・・・

「皆さんこんにちは。初めまして。ジグジットタミラと申します。ジグジットが父の名前ですので、タミラとお呼び下さい。大東文化大学法学部3年生です。この奨学生に選んで頂いて、本当に有り難く思っております。カウンセラーの柴田さん、2年間宜しくお願い致します。私は父の仕事の関係から、小学3年生から日本に住んでおりますので、言葉においてはもうモンゴル人ではないと、よく言われております。外国人学生として扱われるのは不自然かも知れませんが、2年間宜しくお願い致します。」等々と書かれております。

2009年(平成21年)に入って、今度は小幡年度となりました。小幡会長さんにも快くこの方向で対応して頂きまして、この場をお借りして感謝したいと思います。ありがとうございました。彼も翌々年にモンゴルに行くときは、一緒になって現地に行った一人で、非常に有り難く思っております。

沼崎年度になって、再度モンゴル大使館へ行き、ジグジットさんにもう一度卓話をお願い致しました。そのような経緯がある中で、沼崎年度の3月にタミラ君の送別会を行いました。この時に印象に残っているのは、タミラ君も涙を流しておりましたが、嬉しかったのは当時30数名の会員総数でしたが、残念ながら一人だけ仕事でこられませんでした。ほぼ全員集まってくれたことです。なぜこうなったかと思えば、やはりタミラ君の人柄だと思います。誠実で、前向きで、僕らとの関係を非常に良くして頂いたということが記憶に残っております。

平成23年4月栗原年度さんの時に、植樹事業をする上で色々弊害が在りまして、22年度11月に栗原さんと稲見さんと私で大使館に行って参りました。そこで植樹事業をどのように展開して行きたいかという意見交換をした時に、このような5項目の話がでました。

1. 植樹事業は単年度では無理で、複数年必要だということ。
2. 行う時期は4~5月が適切であるということ。
3. 植樹の種類は、現地の人とも考えなければならぬと思うが、ポプラが良いということ。
4. クラブの訪問時期は4~8月を当初は目指すということ。
5. 本計画は数年にまたがる為、モンゴル側の受け入れ期間が必要だということ。

ジグジットさんが、フォレスト NGO を紹介してくれ、このフォレスト NGO に頼んで事を進めようという話になりました。そして23年2月にクラブ国内奉仕委員会にて具体化の打ち合わせをしました。

古谷年度の後半、平成23年2月に2570地区の財団セミナーがありました。その時に、私どもロータリー財団に寄付をしておりますが、3年後に半分返ってきますので、それを活用した方が良い

と言われまして、それがマッチング・グラントという補助金の制度だったのです。それに精通されておりまして、元日本事務局財団室の職員で片岡暎子さんという女性がおりまして、申請の仕方について非常によく教えて頂く経緯がございました。約1年かかったのですが、平成24年7月にモンゴルに行き植樹を実施したのですが、これは単年度事業で事を進めております。

この年度の6月24日に、次期会長の方、フレロータークラブの会長さん、現年度の我々の関係するセクションに呼ばれたナラさんという方、この方とお会いしたのですが、この時に私共は既に、この3週間くらい前に申請書のコピーを送ってありました。フレロータークラブは既にマッチンググラントを経験しており詳しいので、私どもの申請書を見た時に、実施国と援助国の2つ、私どもは援助国、彼らが実施国となるのですが、最終報告書は実施国で出した方が良いと指摘をされました。なぜそのような指摘をと言いますと、援助国の方が報告書を出すとしていたのです。それで慌てて、戻ってからまた3ヶ月位かけて、当時井関さんという方が日本支局にいらしたのですが、お願いして、変更して頂きました。それが24年の10月頃だと記憶しております。

遡る事この年の5月に申請書を出しました。出した時に、この時は当年度の会長である稲見さんに大変お世話になったのですが、16,000ドル位当初あったものが、内容のすり合わせ等で、10,000ちょっとの費用になるだろうということで、申請致しました。

3回目の訪問は、前年度の栗原憲司会長及び宮野ふさ子幹事、他4名の6名で行きました。

実施しているところはこの一角です。

4月7日にドクトルさんから、10,685ドルお金がおりましたとメールを頂きました。2570地区から半



分出て、ロータリー財団から半分出て、フレロータークラブから100ドルというこのような仕組みです。それで10,700ドル弱のお金が入ったという報告があり、やれやれと思いました。そして6月に訪問することになりましたが、その6月の訪問にはタミラ君がいてくれたのです。それまで2年間は、彼は就職先で新入社員のため訓練されており、来ることができませんでした。しかし今年は大丈夫だということで、3泊5日ずっと最後までついてきてくれました。

これが今度の新しいお金が入ったことで買い求めた機材です。

14日に簡単な報告集会を行い、15日の夜はジグジットさんを囲ん



で食事会をおこないました。



報告集会の席で、NGOの方から三年間の計画書の内容について、説明して頂きました。沼崎さんにメモを書いて頂いた内容は次の通りです

1. フォレストア NGO 代表説明

3年間のプロジェクトの現時点での中間報告と最終目的について説明する。学生を教育し砂漠化防止を目的としており、最終目的は3点ある。第一は以前山火事で焼失した山林の再生（現在の対象地区）、第二は植林の研究所として苗木の生産に関する学術的実践的な基地とする。森林の名前を「ホリモクの森」（混合材の森の意）とし、果樹、街路樹、薬になる木を対象に含めている。寒冷地の植樹に関する教授たちの研究施設と同時に学生が本当の植林活動に接する（実習する）場として。この第三の目標として、既に100名程の学生が昆虫採集を行い、これらの植樹に及ぼす影響を調べ、さらに狭山中央 RC が植樹した苗木を移植し、成長を促している。

大学からはインフラに関する資金は出るが、道具類には出ず、これらが不足している。そのために RC の援助は助かっている。新しい道具（スコップ、ジョロ、水タンク、手押し車など）の調達や現地への運搬は困難であったが、非常に役立っている。狭山中央 RC、フレ RC に加え RI の援助には感謝している。大学教授たちはこの計画書作成に重要な役割を果たした。2014-2016年の3年間のドル資金は2013年のレートで計算した。2014年計画の80%は終了し成果を上げている。5項目のうち4項目、1つ目は機材の調達、2つ目は350本の苗木の調達と植樹、3つ目は中間発表の作成、4つ目は調達機材の現地への搬入。未完了の5つ目は最終報告の作成で2014年10月に仕上げる。中間発表はフレ RC のドルゴリ先生担当。

2014年3月に先方よりお金が届いた。内訳は狭山中央 RC(2570地区)より5324\$, RIより5275\$, フレ RCより100\$, 合計10699\$。フレ RCは約4000\$余を使い6452\$が残。次年度、さらにその次に機材等の購入に使用するため残している。領収証と日本語訳も添付している。2015年に使う予定リストも同じく添付。15年16年は足りるでしょう。モンゴル語、日本語で書いてある報告書と計画書を用意した。(栗原会長に手渡す。)

消耗品費から 300\$ で冊子を作った。学生、専門家、学者に対するもので、木の種類、植樹の方法、その育て方の解説書でモンゴルでは数少ない内容。

RI への最終報告書はフレロータリーが行う。モンゴルの若者のために木を有難う。中間報告や最終報告を RI に送る前に狭山中央 RC にメールで送る。もし最終的に残金が出る場合、返金することになるので、使途について今後相談する。

2.フレロータリークラブ会長

フレ RC は過去に於いて RI と植樹プロジェクトの経験が有る。2004~2008 年の間に 5 か所で植樹した。南部ゴビ砂漠での砂漠化防止を目的としたが 2 か所はだめ。3 か所は OK。調査した結果専門家がいない所はだめ。何所に植えるのが良いか、どの木が良いか無知。今回は専門家が居り安心。全く以前とは異なる。フレ RC は口出しするのは専門家でないのどうかと思うけれども、柵がしっかりできていればもっと良いと思う。フジリンゴは素晴らしく美味しいから期待。フレ RC の現役員は 6 月 28 日に本年度最終例会を行うが、次の役員にバトンタッチしてもその後も継続して努力する。

3.確認（柴田会員）

最初の 2012~2013 年の 2 年間はマッチング・グラントが進まず、狭山中央 RC 単独で援助を行ったが、2014 年、フレ RC との間でマッチング・グラントが進み RI からの資金が加わり正式なプロジェクトが発足した。国立の農業大学の教授先生方は公務員である。しかるにこのプロジェクトで働いて頂くことは、モンゴルの法律で許容されていることで有るか心配であり、確認したい。

全く心配ない。教授たちはモンゴルの法律に従っており、違反するようなことは無い。

以上、私からの報告はこちらで終了となります。

ニコニコボックス



- 田口伸一様(狭山 RC) 狭山中央 RC の皆様には大変お世話になりありがとうございます。本日はメイクアップに参加しました。宜しくお願い致します。
- 稲見君 坂本副会長の時間宜しくお祝い致します。益子会員、3分間スピーチ楽しみです。柴田パスト会長モンゴルの事業の話、宜しくお願い致します。
- 江原君 本日はパスト会長の時間で柴田パスト会長、会長の時間で坂本副会長、3分間スピーチでの益子副 SAA、皆様のお話楽しみにしております。何卒よろしくお祝い致します。また、狭山 RC の田口さんようこそおいで下さいました。
- 浜野君 前回欠席して申し訳ありませんでした。
- 竇積君 11/29、尚寿会、学術集会にご参加下さい。
- 守屋君 先日、精神保健関係のことで厚生労働大臣の表彰を受けました、有難いことです。冥土の土産が一つ出来ました。柴田さんの卓話楽しみにしています。
- 坂本君 今日は会長の時間を代行させて頂きます。3分間スピーチの益子会員、パスト会長の卓話、柴田様よろしくお祝い致します。狭山 RC の田口様ようこそお越し下さいました。
- 吉川君 前回お休み致しました、申し訳ございません。

2014~2015年度
ニコニコ累計額

1,555,000 円

次の例会

12月2日(火) 12:30~13:30

クラブ協議会(年次総会)

第2副SAA 有山君 東君

